

農薬等使用状況 自治体アンケート結果

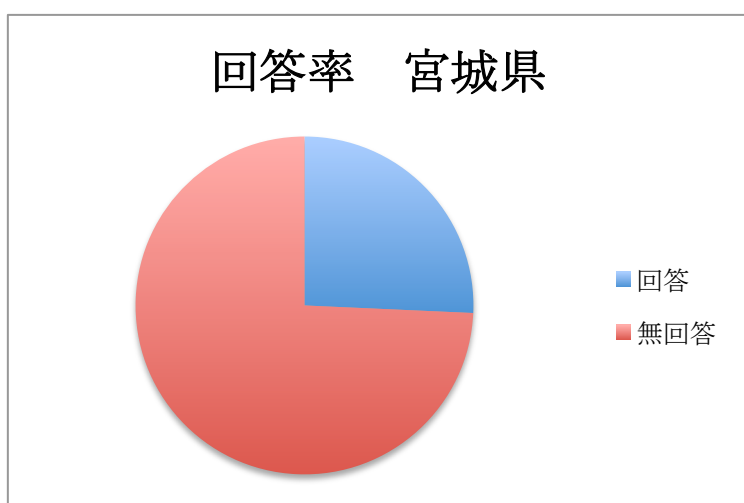
2018.8.4

運営委員会調査分析チーム

(割合-%は、それぞれ全回答数に対する数値)

□ 宮城県 35自治体

※9市町村より回答あり。回答率26%



【1】 学校・公共施設・道路付近で農薬を使用していますか。使用している場合はその内容、使用していない場合はその理由もお願いします。

1 している 5 (56%)

場所：学校、公共施設、駐車場、道路脇など

種類：ラウンドアップ・ネオニコ系農薬使用自治体 5 (56%)

頻度・方法：年2回など、散布

理由：除草

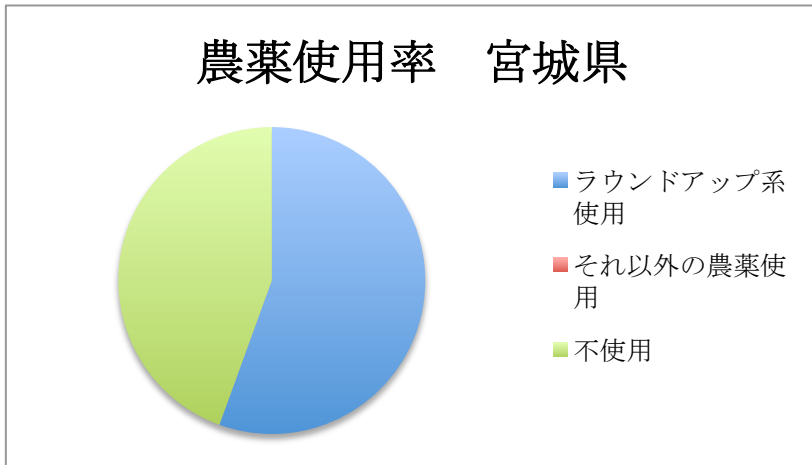
※学校敷地内の一部で使用している自治体の回答を紹介

使用に際しては、長期休業期間中に実施したり、散布地点に立ち入り出来ないよう措置を取るなど、健康被害や安全面を最優先し、使用している。

2 していない 4 (44%)

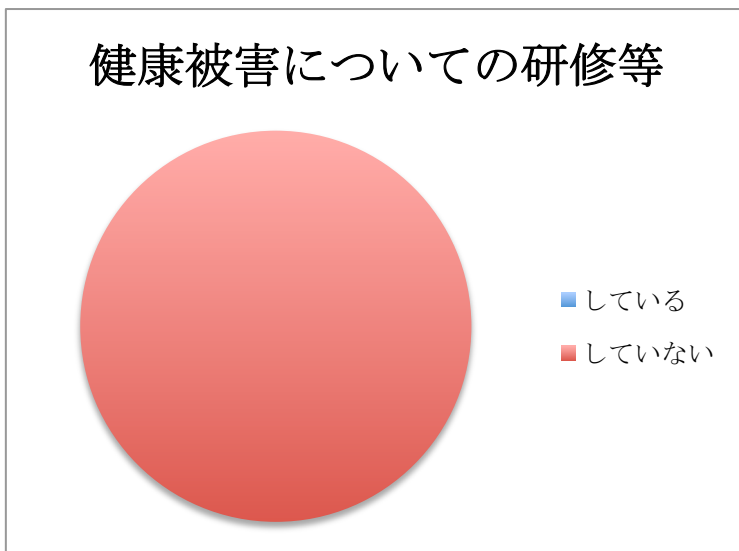
2の理由（例）：

- ・定期的に草刈りをしているため
- ・特に基準はないが各担当の判断



【2】 危険農薬の健康被害についての研究や研修は実施されていますか。

1 している 0 (0%) 2 していない 9 (100%)



【3】 農薬使用の際には2013（平成25）年4月26日付の住宅地等における農薬使用についての国の通知に基づき、以下の項目を実施されていますか。あ

てはまるもの全てに○をお願いします。

1. 散布以外の方法の検討_____	3
2. 住民からの相談窓口の設置_____	1
3. 現地混用（いくつかの農薬を現地で混ぜる）の禁止_____	2
4. 散布時期の選定（風の少ない時期を選ぶなど）_____	4
5. 散布の時間帯の選定（子どもの通学時間外など）_____	3
6. 化学物質に敏感な周辺住民の把握_____	1
7. 立て札の設置_____	1
8. 農薬以外の選択肢の検討_____	2
9. 使用後の周辺住民へのアンケートの実施 （国の通知項目ではありません）_____	0
10. 原則不使用なので対策の必要はない_____	0

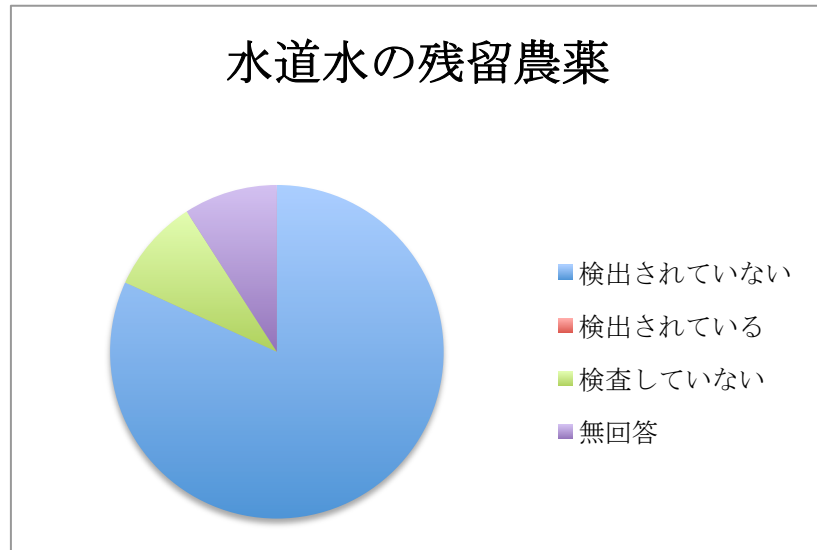
無回答 4自治体

4が最も多く、次いで1.5、次に3.8 9.10はゼロ

【4】水道水の残留農薬検査で、過去5年間にグリホサートは検出されていますか。検出されている場合は結果をお示してください。

1. 検出されていない_____	7 (82%)
2. 検出されている_____	0 (0%)
	(検出結果データ) なし
3. 検査していない_____	1 (9%)
記入なし_____	1 (9%)

水道水の残留農薬



調査結果まとめ

【1】

ラウンドアップやネオニコチノイド系農薬の使用状況

- ・回答9自治体中では半数弱の「原則不使用」の自治体があった。
- ・使用している自治体は全てでグリホサート系の農薬の名前があった。
- ・学校での使用があった自治体のコメントを例示した通り、健康被害についての意識は十分にあると考えられるが、その他の場所、自治体ではどうだろうか。

【2】

農薬の健康被害について、研修・講習会などの参加はゼロだった。ぜひ、県などの行なっている研修会参加などの取り組みをお願いしたい。

【3】

散布時期、風向きへの配慮や散布以外の方法の検討も取り組まれている。危険な農薬の使用時には、これからも国の通知はしっかりと守っていただきたい。特に今後は化学物質過敏症の住民の把握や、使用後のアンケート調査など、住民とのコミュニケーションを十分にとるよう、学校では原則不使用の徹底など、ぜひご検討を。定期的な草刈り対策で「原則不使用」が実現できている自治体も少なくない。

【4】

水道水の残留農薬は0。これからも安全な水道をお願いします。

